

感染症ベーシックスクール in 関西 開催報告

2018年7月7日～8日に奈良パークホテルにおいて、第1回感染症ベーシックスクール in 関西が開催されました。30名の募集定員に対して31名（学生5名、初期研修医25名、後期研修医1名）にお申し込みいただきましたが、当日はあいにくの豪雨のため、5名がキャンセルを余儀なくされ、最終26名の方々にご参加いただきました。

まず冒頭に感染症専門医制度審議委員会委員長の三笠桂一先生から感染症専門医の現状と今後の展望についてお話いただき、その後は「微生物を覚えよう」「抗菌薬を覚えよう」「肺炎」「敗血症」と初期研修医の間に必ず経験・習得してもらいたい感染症の基本的事項についてレクチャーが行われました。奈良市内で唯一の天然温泉でゆっくりと休んだ後は、お楽しみのテーブル対抗クイズ大会、感染症にまつわる様々な難問・奇問の数々にも関わらず皆さん次々に正答を連発され、成績順に「奈良県の銘菓」がプレゼントされました。夜は感染症学会の男女共同参画委員会とのコラボ企画で、「感染症医のワークスタイル」についてフリートークを行いました。特別講演をお願いしていた香川県立中央病院の横田先生が豪雨のため四国を出られないというハプニングもありましたが、スカイプで登場していただき、予定の講演を行っていただきました。その後は温泉旅館の良いところで、それぞれ気のあった仲間たちと共に、空が白むまで語り合った参加者もいたようです。

2日目はケーススタディ「感染症フェローからの挑戦」でした。初期研修医のロールモデルになるであろう5～10年目の新進気鋭の医師による白熱したプレゼンと質疑応答で部屋は熱気ムンムンでした。アンケート結果でも非常に好評で、開催した私たちもとても充実した二日間だったと思います。

関西は、感染症医同士の仲も良く、また大学病院と一般病院の垣根もとても低いです。またやはり土地柄のせいも、参加者のノリもとても良かったです。本会を開催させていただけたことに開催者一同感謝を申し上げて、開催報告に換えさせていただきます。

2018年8月22日

感染症ベーシックスクール in 関西担当
掛屋 弘、笠原 敬



日本感染症学会主催
感染症ベーシックスクール in 関西

会 期：2018年7月7日（土）～7月8日（日）

会 場：奈良パークホテル

プログラム

7月7日（土）

12時55分～13時00分 開会式

三笠 桂一（感染症専門医制度審議委員会委員長/奈良県立医科大学）

13時00分～14時00分 微生物を覚えよう

笠原 敬（奈良県立医科大学）

14時00分～14時10分 休 憩

14時10分～15時10分 抗菌薬を覚えよう

土井 朝子（神戸市立医療センター中央市民病院）

15時10分～15時20分 休 憩

15時20分～16時20分 肺炎

掛屋 弘（大阪市立大学）

16時20分～16時30分 休 憩

16時30分～17時30分 敗血症

大場雄一郎（大阪急性期・総合医療センター）

17時30分～21時00分 休憩・夕食・入浴（夕食はテーブル対抗クイズ大会）

21時00分～ フリートーク

※感染症医のワークスタイルなど、ここだから聞ける話が盛りだくさん!!

横田恭子（香川県立中央病院）

土井朝子（神戸市立医療センター中央市民病院）

大場雄一郎（大阪急性期・総合医療センター）

他

7月8日（日）

9時00分～12時00分 ケーススタディ「感染症フェローからの挑戦」

土井 朝子（神戸市立医療センター中央市民病院）

大場雄一郎（大阪急性期・総合医療センター）

山田 康一（大阪市立大学）

12時00分 閉会式

笠原 敬（奈良県立医科大学）